

講義名	スポーツ社会学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	水野 英莉		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

現代社会では、スポーツは私たちの社会生活のあらゆる側面と結びついて大きな社会現象となっています。たとえば、オリンピックやサッカーのワールドカップなどは、政治や経済などと密接にかかわっており、影響も多大です。スポーツはどのように発展してきたのでしょうか。また、どのような影響を社会に与えるに至ったのでしょうか。この講義では、スポーツに関わる映画を素材として、スポーツを社会学の視点で考えるための方法と知識を学ぶことになります。

遠隔授業の実施期間中は、Ryuka Portal の「講義連絡」に、毎回の教材（パワーポイントをPDF化したファイル）を置いておきます。よく読んで自主学習してください。そこに課題も出ています。期限内にレスポンスに提出すること。

到達目標

スポーツを素材に、広く深く社会を知ることが目標です。スポーツを「する」「みる」ことに加えて、スポーツを「学問する」ことで、みなさんは新しい引き出しをひとつ増やしましょう。

提出課題

ほぼ毎回の講義時間内に、課題の提出が求められます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

提出したワークシートの採点、返却がされます。また、前週提出したレスポンスの講評が受けられます。
*オンライン講義の場合は必ずしも返却されない場合があります。

評価の基準

平常点（課題）によって総合的に評価されます。

履修にあたっての注意・助言他

社会学の知識が必要になりますので、「社会学基礎」や「社会学概論」、「社会問題論」の履修を推奨します。
レスポンスというアプリを使用して出席を確認したり、コメントを提出したりします。速やかに準備を整えること。また、オンライン講義の場合はRyuka Portal を通じて教材配布、課題設定がなされます。普段から講義連絡をよく見るようにしてください。

教科書	.使用しない。
プリント資料及び参考文献	講義中に資料を配布します。参考文献は適宜指示します。

授業計画

- 1、オリエンテーション
- 2、スポーツの近代化とつくられる伝統 1
- 3、スポーツの近代化とつくられる伝統 2
- 4、スポーツの近代化とつくられる伝統 3
- 5、スポーツとジェンダー、セクシュアリティ 1
- 6、スポーツとジェンダー、セクシュアリティ 2
- 7、スポーツとエスニシティ、宗教 1
- 8、スポーツとエスニシティ、宗教 2
- 9、スポーツとアマチュアリズム 1
- 10、スポーツとアマチュアリズム 2
- 11、スポーツとアマチュアリズム 3
- 12、スポーツとインクルージョン 1
- 13、スポーツとインクルージョン 2
- 14、スポーツとインクルージョン 3
- 15、まとめ

オンライン講義の場合は、予定通りにはなりません。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義に出席するだけでは、十分な理解は得られません。知識として定着させるには、復習は不可欠となります。受講後に資料やノートを見直し、知識を整理し、わからないことを質問できるようにしておくといでしょう。合計60時間。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

映画を視聴し、ワークを行います。スマートフォンを通してレスポンスで出席提出、課題提出を行います。
*遠隔授業の機関には映画の視聴は限定的になる可能性があります

実務経験の有無及び活用

備考

受講生の理解度に応じて授業は行なわれるので、必ずしも授業計画の通りには進まないことがあります。